

2024 年度 第 4 回理事会 議事録 2024.9.28

日時：2024 年 9 月 28 日（土）13：00～16：15

開催方式：対面開催

場所：神奈川県横浜市中区真砂町 3-33 商業ビル「セルテ」9 階 901 会議室

出席理事：神保武則（会長）、田中ゆかり（副会長）、玖島弘規（事務局長）望月強併、遠藤陵晃、青木啓一郎、佐々木秀一、神田崇央、神保洋平、金山桂、佐藤隼、佐藤範明、山勢健太郎（13 名）

出席監事：錠内広之（1 名）

欠席理事：吉本雅一（副会長）、奥原孝幸、野本義則、澤口勇（4 名）

欠席監事：野々垣睦美（1 名）

その他出席者：兵頭夏海（事務局部員）、神原文香（事務局部員）（2 名）

I. 会長より挨拶

今回は予算の話もあります。当会は今後、組織改編があります。上半期は組織改編を見越して班構成を検討してきました。組織改編、組織率が重点課題になってきます。いよいよ士会と協会が一体化する動きが始まろうとしています。開始が 2027 年になります。作業療法士の活躍の場を広めていけたらと思います。

II. 審議事項

1. 後援依頼（事務局）

- ・第 25 回医療・健康フェスティバル後援依頼
→賛成多数で承認

2. 令和 6 年度小田原地区糖尿病週間行事実行委員会の推薦について（事務局）

- ・小澤病院石井氏内諾済み
→賛成多数で承認

3. 部員承認（学術部、教育部、生活行為向上マネジメント推進委員会）

- 賛成多数で承認

4. 事務局員給与について（事務局）

- ・2024 年 10 月より神奈川県の最低賃金が 50 円引き上げされる。
それに伴い事務局員の時給を 1170 円に改定したい。
→賛成多数で承認

5. 講師謝礼金について（学会評議委員会）

- ・講演依頼をしている出江先生の講師料について、医師および大学教授であり、多くの講演経験を持つ「社会的な著名人」として、区分 1 に該当する謝金額として進めたい。過去の講演では 5 万円程度で引き受けているため今回も謝金を 5 万円で依頼したい。
→賛成多数で承認
- ・ICT 救助隊 2 名の講師料について、助手として謝金 12000 円＋交通費、福利厚生費としたい。
→賛成多数で承認
- ・謝金規定から講師料が変更になる場合は理事会審議とする。

6. PT 士会との協定書について（地域包括ケアシステム推進委員会）

横浜市からの一体化事業が進み、今後 PT 士会が窓口となり、PT 士会が依頼を受けて OT 士会に委託される。

このような方向性で進んでいくという形で一度、審議させて頂きたい。

→賛成多数で承認

7. 定款・会員規程・会員権利及び特典内規の修正について（規約委員会）

今年度の定時社員総会において学生会員の入会金と初年度年会費無料について提案したが、根拠が不十分であった。次年度から開始するためには、臨時総会を実施する必要がある。学生会員の特典として初年度無料とされていたが、学生会員のみ無料にすると県外からの入職者は情報を知らず、職場内で差が出来てしまう可能性がある。また、未入会の2年目以上が入会しない理由にもなりかねない。会員モデルワーキングとしては、入会金無料の対象をどうするか話し合った中で、新卒者の経済的な負担に配慮し、対象を新卒者とし、期間としては12月までに入会した場合は年会費と初年度入会金無料とした。現状、協会＝士会員になっていない人は1200人程度いるが、その方々はどのタイミングで入会しても入会金、年会費は通常通りとする。今後、どのように県士会の魅力を伝えて入会を増やしていけるか検討していかなければならない。

【質疑応答】

- ・田中理事：現在未入会の2、3年目の救済処置を考えて欲しいと意見があったが、何か案は出たか。入会促進キャンペーンなどはあるか。
- ・玖島事務局長：会員モデルワーキング内でも様々な意見が出た。すでに入会されている方のことを思うと何かしらの対応をするべきだと考えるが、今回のワーキング内では金銭での救済処置は無しとなった。
- ・佐々木理事：初年度無料だが2年目以降すぐに退会する可能性も懸念される。県士会の魅力や特典として、バックナンバーが見られるなどと紐付けるのはどうか。また県士会主催の懇親会もどうか。
- ・青木理事：入会率を上げるために、入会を必ず行ってもらえるような仕組みづくりが必要。
なぜ入らないかを調査して検討していく必要がある。入会していない人になぜ入らないのか理由をインタビューする必要があるのではないか。

【審議事項】

(1) 定款の変更 第2章 会員（種別）第8条の変更

「神奈川県内の大学院に在籍しているもの」を追加

→賛成多数で承認

(2) 会員規程の変更 第5条、第6条の変更

新規国家資格取得者の入会費、初年度会費無料に関する記述の追加

→賛成多数で承認

(3) 定款の変更 第5章 総会（権能）第36条、第6章 理事会（権能）第48条の変更

事業計画及び収支予算の承認について、総会の権能から理事会の権能へ変更

→賛成多数で承認

(4) 会員権利及び特典内規の変更

→賛成多数で承認

会員の特典として合同就職説明会の開催が案として挙がった。内容としては県士会主催で開催し、学生だけでなく中途採用の方にも情報の提供を行えると良いか。現段階では案として出ているだけであり、開催の有無や県士会主催で開催しても問題ないか専門家に確認する。

Ⅲ. 理事としての提案・審議事項

1. 田中理事

- ・組織改編について、会計担当者の位置づけについて確認（財務部より説明）

→通帳に対して会計担当者1名を配置。必要に応じて取り纏め会計担当者を配置する。

・神奈川県産業振興課からのご相談

神奈川県産業振興課の方から LOOVIC 株式会社が開発するアプリについてのご相談の連絡があった。

当事者が暮らしやすいようなアプリを作成していきたいため作業療法士としての意見も伺っていききたいとのこと。高次脳機能障害、認知機能障害、発達障害の方が暮らしやすく生活していくための助言を頂きたい。

佐々木理事：特許取得や知的財産の流失につながる可能性も考えられる。どこまで私たちがアドバイスしていくか考えていく必要がある。契約書での締結や、会社との付き合い方を検討した方が良いのではないか。

田中理事：今一度、神奈川県産業振興課の方に問い合わせを行い、確認する。

IV. 報告事項（各部署・理事・三役）

1. 事務局

(1) 事務局員の退職に伴う対応

事務局員の退職に伴い金曜日の勤務調整が必要であり、11月以降は金曜日が休業になる可能性がある。

(2) 臨時社員総会について

2024年11月21日(木)19:00～開催予定

2. 財務部

(1) 中間監査について

10月26日(土) 14時～書類の送付案内は理事メールで周知済み。

(2) 会議費について

日当にあたるため源泉徴収が必要との指摘を受けた。今後の対応について理事・監事へ意見を聴取する。

(3) 2025年度予算案作成について

各部署で会議費と福利厚生費を800円から1000円に修正したものを送ったため、それを参考にして来年度予算を作成する。

3. 学術部

(1) 研究助成事業について

今年度の研究助成は締め切りが7月末であり3名の応募があった。3名とも研究審査は可であり、助成金も合計379,000円で予算内であったため3名全て助成金対象とした。

4. 教育部

(1) 「事例検討・事例報告の読み替え手続き」の設定について

現在、事例報告および事例検討の読み替えに関する対応は行っておらず、会員からの問い合わせが増加している。そこで、日本作業療法士協会現職者研修運用マニュアルに則り、神奈川県作業療法士会としての読み替え手続きを制定する。依頼があった方に対して振り込み口座を送り、手続き費用として1,000円徴収する。

5. 福利部・吉本副会長

(1) 第6回臨床作業療法大会 県士会紹介・交流企画

当日のブース担当者を理事・監事より募り配置を決めていく

目的：参加者同士の交流、入会促進、気軽に立ち寄れるような場所の提供。

内容：飲み物の提供、気軽に立ち寄り、ドリンクを飲みながら交流してもらう。

名札を配り、趣味・経験年数・どのような病院で働いているかなど交流できる話題を作る。

6. 制度対策部

(1) 大規模災害発生を想定したシミュレーション訓練について

アンケートの回答をお願いしたい。

7. 学会評議委員会

(1) 第 6 回臨床作業療法大会について

現在エントリーが 3 名のため、周囲へ声掛けをお願いしたい。

(2) 第 7 回臨床作業療法大会 大会長について

大会長へ選出予定者または候補者がいたら、青木理事に情報提供をお願いしたい。

(3) 第 20 回神奈川県学会について

2025 年 9 月 21 日に開催。9 月 20 日は前夜祭として公開講座を開催する。

8. 生活行為向上マネジメント推進委員会

(1) MTDLP 事例報告登録制度廃止について

OT 協会において、MTDLP 実践や審査員の課題もあり、さまざまな検討をした結果、新規の受付は中止している。

9. 認知症対策委員会

(1) 地域イベント、日本作業療法士協会依頼事業について

小田原、真鶴、湯河原の行政、関連団体と認知症啓発イベントに参加。認知症の予防事業として、コグニサイズや脳の賦活に関わることを実施して欲しいとの依頼があった。

認知症関連活動報告書の提出について、アップデート研修や RUN 伴＋三浦半島などを報告した。

10. 遠藤理事

(1) 神奈川県主催 PT 士会受託「市町村介護予防事業支援のための人材育成事業」について

介護予防について、歯科医師が講演した。2 部構成で第 2 部では佐藤隼理事から介護予防事業の当会の取り組みを紹介した。

(2) 日本作業療法士協会 地域社会振興部 B ブロック会議について

佐藤隼理事が参加し、市町村配置で各県士会が動いている内容を情報共有した。

11. 田中理事

(1) 第 2 回協会長・都道府県士会長会議(よんぱち) 9 月 21～22 日開催について

書面にて報告。

V. 2024 年度中間評価と次年度に向けての課題について（田中副会長）

別資料を用いて報告。

(1) 事務局

事務局員が 1 名退職したため増員するか検討。事務局内、理事が担っている業務を整理していく。

事務局長の業務が多岐に渡るため、来年度は事務局次長を配置し事務局員との連携が必要。

(2) 財務部

会計処理や対応について事務局との連携強化を図っていく。

(3) 学術部

スキルアップ研修を 11 回開催。今年度より講師料が上がっているため予算が不足している。

研究助成では研究計画書の書き方など若手向けへの内容を強化していく。

(4) 教育部

班編成や役割を整理した。臨床実習指導者講習会も滞りなく進んでいる。

また新生涯教育制度の準備をしていく。

(5) 広報部

県士会ニュースの発行や対外活動を行っている。

エリア化野本理事からもコラボ企画の提案あり。

県士会ニュースに関しては、発送料が高騰しているためメール配信も検討。

(6) 福利部

子育てや介護中の会員への対応について、当事者の意見を取り込んでどんなことができるか検討する。

OTリーダー層や役職者層への研修を開催し、人が集まる場を設けていきたい。

養成校へ訪問し、入会促進、学生会員の紹介を行なっていく。

(7) 地域リハビリテーション部

P S W協会との合同勉強会、今年は別々に実施。OT同士の関わりを強めて来年は合同で実施予定。

三団体協議会は新体制となり実務者研修も実施予定。

(8) 制度対策部

福祉用具相談システムについて、会員外からの窓口も設置する予定。

自動車運転班において神奈川県指定教習所 30 か所との連携開始。

神奈川DWA Tにも参画し、連携や情報共有を行なっていく。

安否確認ツールの運用を本格化していきたい。

(9) 規約委員会

定款規程については適宜、公益法人協会に確認をとりながら進めている。

(10) ウェブサイト管理委員会

様々なメディアを用いて広報をしているが、さらにメディア戦略を検討していく。

(11) MTDLP 推進委員会

事業計画通りに進んでおり、基礎研修 2 回を対面で開催予定。OT 協会での事例登録制度廃止について配信していく。

(12) 学会評議委員会

第 20 回県学会の運営サポートを行なっている。今後は第 21 回県学会の学会長も検討していく。

学会で発表しても、J-stage などに掲載されず全国学会に流れやすいことが課題。学術部と相談していく。

(13) 認知症対策委員会

アップデート研修を開催し 40 名参加予定。来年度は地域振興部に位置づける。部内、エリア化とコラボしながら部員派遣をしていく。

(14) 地域包括ケアシステム推進委員会

一体化事業はP T士会中心。横浜市の地域リハ事業を進めていく。

OT 協会の地域社会振興部との強化を進める。

(15) エリア化推進委員会

OT コネクトミーティングを開催予定。

(16) 選挙管理委員会

2025-2026 年度における役員選挙の準備を進めていく。

(17) 会員モデルワーキング

総会後 4 回会議を実施。正会員に向けた取り組みは継続し法人管理運営部門に取り込んでいく。

【質疑応答】

Q.県士会ニュースの印刷代、郵送代が多くかかっているため全て配信にできないか。

またメールアドレスを把握するために郵送して紙面に書いてもらって返送を受ける場合の郵送費を含めた予算を出してほしい。

A.現状メールアドレスの取得は行なっておらず、事務局で使用している管理ソフトではメールアドレスが管理できない状況。また数年後に協会員=士会員となるため、使用媒体も含めて動向を見ている。

入会時からメールアドレスを取得し、現会員についても取得できるよう検討していく。

また予算については郵送費の値上がりもあり、Google Form などを活用しできるだけ費用のかからないよう

していく。

Q.エリア化を考えた時に、現状どんな情報を会員から収集しているのか。

A.個人情報に加え、職場、エリア、分野を収集している。しかし入会時のものであり適宜更新されていない可能性がある。協会員=士会員での紐づけの詳細は不明。

VI. 監事より

お疲れ様でした。新入会員の入会金、初年度年会費無料の話ですが、その目的が果たして全理事共通認識できているのか、意識統一できているのかは確認してほしい。無料にする会員たちに対して、お客さんを扱うような感覚がある点が気になる。我々がやってきた活動が悪くて新入会員が減るわけではない。理事ひとりひとりが広報部員であり、各職場で話題がでることによって、スタッフが入会してくれるかもしれないと考えます。よろしくお願いします

議事録署名人	議長：	神保 武則	印
	理事：	佐々木 秀一	印
	理事：	佐藤 範明	印
	監事：	錠内 広之	印